

公立大学と地域社会のこれから

—公立大学学生ネットワーク全国大会「LINKtopos2017 in Osaka」に参加して—

- **みなみおおさまカフェ**

岸本 尚大 (社会福祉学教室 修士課程)

齋藤 志恩 (社会福祉学教室 修士課程)

- **首都大学東京ボランティアセンター**

柳田 秀明 (物理学専攻 博士後期課程)

- **LINKtopos2017運営メンバー**

水越 智一 (航空宇宙システム工学域 修士課程)

アウトライン

- LINKtoposとは何か？
- 「LINKtopos2017 in Osaka」当日のプログラム紹介
- まとめ ー 公立大学と地域社会のこれから

LINKtoposとは...

“LINKtopos”... 公立大学・学生ネットワーク, および全国大会の愛称

toposは「場」を意味するギリシャ語であり、古代ギリシャにおいて人々が盛んに議論を交わしていたことに倣い、公立大学がLINK(つながり)の力を発揮する“英知を結集する場”にしようとの願いが込められている。

全国の公立大学で活躍する地域活動団体が集結してつながることで、互いの知識・経験・想い・価値観を学び合い、それにより自分たちの活動の幅を広げることを目的としている。

LINKtopos誕生のきっかけ

2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、「被災地支援に取り組む学生の生の声を聞いて学生支援のあり方を探り、その中で大学が果たすべき被災地支援を考えよう」と、各所で活動している学生たちを公立大学学長会議に招集したのがきっかけ。

首都大学東京から参加した団体

首都大学東京ボランティアセンター 学生コーディネーター

学生の視点から、ボランティアコーディネーションを磨きつつ、

- 学生と地域をつなぐ
- 学生が本センターに来室しやすい雰囲気をつくる
- 学内のボランティア活動を盛り上げる

...などの取り組みを実践し、

ボランティアセンター職員(含ボランティアコーディネーター)と共に、

本学におけるボランティア活動に対する機運を高めるサポートを行っている。

↓センター年間行事へ参画

センター主催の年間行事の
運営に主体的に携わる



↑学生CN.による自主企画

学生の立場から発揮される
自主企画とその実施

みなみおおさまカフェ

参加者・運営者ともに世代を超えて、「様々なつながりが生まれること」をコンセプトとしたコミュニティ・カフェ。企画・運営からカフェの開催まで、首都大学東京の学生・教員と、地域の中の様々な人たちが協力し合いながら活動している。

設立の経緯...

大学周辺地域の特徴として、「ニュータウンと旧来の地域が共存しており、住民同士の関係が築きにくいこと」や「近くに買い物ができる場がなく、買い物難民となってしまう住民がいること」等があり、地域のなかに気軽に誰かとつながりをもてるような居場所をつくり、地域住民の社会的孤立を防ぐことが課題となっていた。

地域における 「つながり」の醸成

- ・地域に暮らす人が気軽に誰かとつながれる場
- ・地域で活動している団体同士の関係性を築く場

「産学官民協働」 による活動

- ・月に1回の頻度で、活動の振り返りを行う「コア会議」を開催
- ・地域の中で様々な役割をもつコアメンバーの強みを生かす

積極的な「発信」

- ・HPや外部イベントへの参加を通じた活動内容の発信
- ・発信の機会を通じた他団体との交流